

市民文芸

短歌

令和七年度第五十四回
阿南市春季短歌大会 選

最優秀賞

歳長けて想うは継母との過ぎ来しの数えきれない
ほどの悔いあり 五島 秀子

優秀賞・互選賞三位

裏庭に並べ置きたる空き瓶に異なる色の雨が溜り
ぬ 森尾 光一

猪の足音紛れいるやと耳立てるカサカサ風に騒立
つ落葉 亀島賀陽子

ネクタイが結べぬという夫の焦り妹の葬儀に行か
ねばならぬ 森 ゆき子

大動脈の手術のあとも薄れ来て九十八歳畑に鍬ふ
る 勢井 恒子

互選賞一位

いつだって振り返れば誰かいたこんなに美味しい一
人の珈琲も 大竹 みみ

二位

摘み取って君に若葉の髪飾り風がさらつて笑つち
やったよね 定本 直子

四位

むすびつなぐ「灯り」に集う人人をふところに抱
く武庫の山やま 福永 照代

四位同点

侘しさに赤子のごとく身を丸め老いは一人の冬や
り過ごす 小畑 定弘

俳句

阿南市俳句連合会 選

子の発つ日曆を捲る五月かな

老いゆける一日短し夏に入る

葉桜や寄せに寄せたる供養塚

かしわ餅ほんのり沁みるニツキの香

横臥して山ひと掴み夏座敷

柿若葉切り売りされた屋敷跡

茶所の新茶ふるまうお接待

ハンカチを額にあてる夕薄暑

人なれし鳩に雀の子もまじる

天守より一つ見つけた鯉幟

陶久 晴義

久米 千草

東條 明宏

田上 隆敏

駒木 幹正

東 良子

横井 知昭

谷 由美子

小西 晴美

大西 裕子

大谷翔平

年間通計最優良

届月快音當打王

天下無雙日東詔

謝恩感佩讚榮光

牡丹

牡丹已發野人園

富貴名花隔短垣

紅白大輪盈氣韻

風姿容貌宿香魂

吉形 和恵

年間の通計 最優良

月に届く快音 當に打王

天下無雙 日東の詔

感佩に謝恩して榮光を讚えん

原 美智子

牡丹已に発く野人の園

富貴の名花 短垣を隔つ

紅白の大輪 氣韻に盈ち

風姿容貌 香魂を宿す

川柳

阿南川柳会 選

探し物忘れた頃に出る不思議

日記にはフフと書いて気楽です

父母も未踏の八十路坂上る

夫婦です片目つぶって許し合う

生き甲斐は楽しく遊ぶ孫の傍

ひとり身でひとりの味の夕の飯

許されぬ恋はあの世へ持つて行く

西田 修身

野村 敏子

橋本 征介

若木アヤ子

篠原 良子

神野 鈴代

多田紀久代

和歌山城

虎伏丘陵近紀川

堅城豪壯石垣鮮

偉容屹立誇天守

秘寶藏鈴三百年

大野シゲ子

虎伏の丘陵 紀川に近く

堅城 豪壯 石垣鮮やかなり

偉容 屹立 天守を誇り

秘宝 藏鈴 三百年

一般応募

認知予防一日一句指を折る

散歩道しやれたマスクの地蔵さま

クリーンなつもり西日に論される

島尾美津子

泰地 重美

武田 敏子

漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社 選

